



## 現地集合学習



6月7日（金） 自分で調べた公共交通機関（JR、南海電鉄等）を利用し、研修場所に集合する現地集合学習を行いました。今年は、和歌山市にある「瀬戸内海国立公園 友ヶ島」を現地集合学習の場所として選びました。



現地集合学習は、社会生活を送る上で必要な公共交通機関の利用及び定められた時間までに目的地に到着できる手段について、自ら情報を集め、内容を精査できる力を身に付けることを目的に実施しています。加えて、



今年は友ヶ島の遺跡や自然を散策することで、郷土に対する興味・関心を高めるため行いました。

生徒たちは、「めでたいでんしゃ」を降車後、灘流しで有名な「淡島神社」に集合後、フェリーに乗って友ヶ島に到着しました。砲台跡や展望台などを訪れ、友ヶ島の歴史を体感するとともに、展望台では紀淡海峡を一望し、



遠く四国まで見渡すことができる素晴らしい景色を楽しんでいました。

## 応募前企業ガイダンス

6月19日（水）就職希望の高校生に和歌山県内の企業の魅力を紹介する就活イベント「応募前企業ガイダンス」が、和歌山ビッグホエールで開催されました。「和歌山市地区会場（和歌山市及び那賀・海草地域の高校に通う生徒対象）」では、県内184社がブースを出展しており、来年3月卒業予定の高校生約700人が担当者の説明を聞くなど志望する就職先を探しました。

このガイダンスは、就職希望の高校生に対して、自らの進路を考える機会を設けるものであり、県内企業は、将来の県内産業を支える高校生に自社の魅力をPRします。ポイントは次の3点になります。①企業の採用担当者から直接話を聞き、意見交換を行うことにより、就職意識が高まり、不安解消につながる。②希望する企業を中心に、多くの業種・職種を研究でき、進路選択の幅が広がる。③企業の理解を深め、ミスマッチによる離職を防ぐ。高校生の県内就職の促進や定着率の向上を目的に、生徒が、企業から直接、会社の概要や魅力を知ることができる機会となっています。

美里分校からもこのガイダンスに参加し、自分の進路の参考とするため、さまざまな企業の説明を真剣に聞く様子が見られました。

## 中田の棚田再生プロジェクト：田植え体験

6月1日（土）教員・生徒有志が、ボランティア活動の一環として、小川地域棚田振興協議会「中田の棚田再生プロジェクト」に参加しました。人口減少・高齢化など棚田の管理や維持が難しくなる中、田畑の整備から水稻耕作まで、ボランティアイベントとして行われています。参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。



## 7月の主な行事

- 1日（月）期末考査  
※～3日（水）まで
- 8日（月）漢字検定
- 11日（木）みさと天文台学習
- 12日（金）企業見学会
- 16日（火）社会人スキルセミナー
- 17日（水）三者面談  
※18日（木）まで
- 19日（金）終業式・大掃除

## NHK杯全国高校放送コンテスト和歌山大会結果発表

6月4日（木） 「NHK杯全国高校放送コンテスト和歌山大会」が和歌山県民文化会館で開催されました。

放送部がこの大会に参加した結果、見事4位に入賞し、全国大会への切符を手に入れました。全国大会は、7月23日（火）・24（水） 国立オリンピック記念青少年総合センター、NHKホールを会場に行われます。全国での活躍を期待しています。